
メリーポピンズ清瀬ルーム

平成29年度

福祉サービス第三者評価結果報告書

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1) 「にんげん力」のある子どもを育てる遊びの機会と環境をつくれます 2) 保護者のニーズをとらえ、保護者満足度の高いサービスを行います 3) 地域のみんが子どもを育てるコミュニティーづくりを目指します 4) 一人一人が提案、実行できるパワーのある保育者集団を目指します</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1) 職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに一番近い保育者が子どもに必要な体験を提案し実行できる。 ・保育者自身が自己成長を意識する。 <p>(2) 職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のクラスの子どもはもちろんのこと、保育園全体、保育園に通園していない在宅の子ども、日本全体の子どもたちに自分たちは何ができるかを常に意識する

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	「にんげん力。育てます。」を保育理念に、多彩な保育内容を実践しています
	内容	「にんげん力」を身に付けられるよう、健康な体作りのために、午前と午後の戸外活動、毎月の遠足、商店街ツアー、地域の方々との触れ合いなどを実施して、子どもたちがさまざまな体験をできるようにしています。保育士が主導でかかわるのではなく、子どもが自ら考えて行動する力を養えるよう、かかわりすぎない保育を実践しています。異年齢保育では、他者を思いやる心や認め合う力を引き出すかかわりを大切に、小さい子どもを思いやる気持ちや大きな子どもにあこがれる気持ちなど、異年齢ならではの成長を最大限に引き出せるようにしています。
2	タイトル	温かい雰囲気のもとで保育が展開され、保護者の満足度も高い評価を得ています
	内容	2歳児クラスまでの小規模保育園のため、職員は全員の子ども顔や特性を把握しています。朝礼や昼礼は毎日実施して、子どもたちの様子について全職員で把握するようにしています。月末の園会議では、次月の保育内容について、全職員で子どもの成長に合わせた保育内容を検討しています。保護者とも話しやすい関係性作りを、施設長が先頭になって取り組んでおり、朝夕の送迎時の対応への満足度も高い評価が得られています。今後も、保護者との良好な関係性を維持して、風通しの良い施設運営を継続されることを希望します。
3	タイトル	こだわりの食材を使用して、おいしい給食の提供や、食育に力を入れています
	内容	こだわりの食材としては、新潟県魚沼市で栽培した米を直送して園の給食に使用しています。給食は和食を中心に、野菜や魚など食材そのものの味を生かした薄味を基本として、味覚の基礎となる大切な時期に本物の味を理解できるよう、過度な味付けはしないようにしています。食育としては、プランターにピーマンやトマトといった夏野菜を栽培し、収穫して食したり、梅ジュース作りなどのクッキングや、適切な食具の使用などのマナー、縁側や園庭で給食を食べるなど、2歳児クラスまでの子どもが楽しんで取り組める内容を取り入れています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	人員構成の適正化に向けた検討を期待します
	内容	園は開園3年目、現在定員39名、職員18名の人員構成になっています。施設長が園全体の業務を統括し、職員の指揮、監督にあたっていますが、中堅の指導者クラスが少ないので、多くの若い職員の育成が十分であるとはいえない状況です。また、施設長は、保育や地域の関連機関など園外での活動や、法人内の施設長会や施設長研修会などにも出席しています。施設長不在時にも安定的に業務の継続を図るために、施設長の業務を代行できる主任クラスの速やかな登用など、職員の人員構成の適正化に向けた検討を期待します。
2	タイトル	保護者の高い満足度の維持、継続を期待します
	内容	園は0～2歳児を対象にした乳児専門の保育園であり、アットホームで温かい雰囲気の中で子ども一人ひとりの育ちに目を向けて保育を行っています。全職員が子ども全員のことを把握する保育を心がけ、小さいことも全員で話し合っ解決しようとする体制や、良好なコミュニケーションのもとで、子どもたちの情報を共有しています。こうした取り組みにより、今回初めての利用者調査でしたが、保護者から総合的な感想では非常に高い満足度が得られました。今後も園と保護者との良好な信頼関係を維持されて、高い評価が継続されるよう期待します。
3	タイトル	苦情解決制度について、さらなる周知を期待します
	内容	苦情解決制度や外部の第三者委員の仕組みについては、園のしおりなどに明示し、保護者に対しては、入園説明会や保護者懇談会で詳しく説明しています。苦情や意見があった場合は、制度の仕組みに沿って、速やかな解決につながるよう努めています。しかしながら今回の利用者調査では「要望や不満を職員以外（第三者委員など）の人にも相談できることを、園ではわかりやすく伝えているか」については、ほかの項目に比べて低い回答になっています。本件に関し、保護者へのさらなる周知の徹底を期待します。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル①	地域とのかかわりを大切にし、地域交流にも力を入れています	
内容①	地域に愛される乳児保育園を目指しています。商店街に隣接する環境を生かして、散歩に出かけた際には、商店の方などから気軽に声をかけてもらったり、会話を交わしたり、日常的に地域の人に見守ってもらっています。毎月、公園での青空保育では、地域の親子といっしょに遊びを通して触れ合っています。園庭は毎日開放して、在宅親子と園の子どもたちとの交流を図り、毎月の活動内容は「ちきんえっぐだより」で案内しています。保育園のある同ビル1階には高齢者施設があり、高齢者との世代間交流を通して歌やゲームを楽しんでいます。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	保護者とのコミュニケーションを大切に、一対一の対応に努めています	
内容②	毎日の送迎時には、保護者とのコミュニケーションを大切にした「3分間対応」を実践しています。その日の保育中の子どもの様子について、エピソード記録を添えて報告することで、子どもの生き生きとした様子を理解してもらえるように努めています。朝夕の送迎時には職員から積極的に声かけを行うことで、何かあった際には相談してもらえるような関係性を構築できるよう、日ごろから取り組んでいます。連絡帳機能を備えたアプリを使用して保育中の写真をアップするなど新しい試みも導入して、保護者の満足度や安心感につなげられるようにしています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	1-1-2	経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている
タイトル③	施設長のリーダーシップのもとで、風通しの良い職場作りを目指しています	
内容③	施設長が軸となって日々の話し合いを重ねながら、風通しの良い職場作りを目指しています。保育姿勢としては、子どもたちに笑顔で接し、子どもの目線で接し、優しい言葉がけをすること、また、日々の保育を振り返るように保育品質マニュアルを園会議で唱和したり、ミーティングで話し合ったりして、職員間の浸透と共通意識を高めました。施設長のリーダーシップのもとで職員同士の協力体制が多く見られるようになり、職員が「子どもや保護者の人権とは」「子ども本位の保育とは」を常に考え、日々の保育の実践に努めています。	

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 9/9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	● あり ○ なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <input type="radio"/> 非該当
	● あり ○ なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	● あり ○ なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	● あり ○ なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	● あり ○ なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/> 非該当
	● あり ○ なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	● あり ○ なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/> 非該当
	● あり ○ なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/> 非該当
	● あり ○ なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/> 非該当

カテゴリー1の講評

保育理念や保育目標などを玄関に掲示しています

保育理念や保育目標などは、玄関入り口に掲示し、また、それらは入園のしおりや保育課程の中に記載しています。保護者には入園説明会や保護者懇談会で詳しく説明しています。職員には、入職時に理念、方針、各種マニュアルなどをまとめた「保育品質マニュアル」を貸与して、いつでも保育上の課題を検証、見直すことができるようにしています。年度初めの園会議（職員会議）において、施設長は理念や園の年度目標「一人ひとりの子どもたちが、自分らしく心豊かに育ちあう」こと的主旨などに触れ、職員への確認と周知の徹底を図っています。

施設長は自らの役割と責任を職員に伝えています

園の経営層である施設長は、園のすべての業務を統括し、所属の職員を指揮、監督するとともに会計業務に従事しています。施設長は園で取り組むべき課題として、幼子の命を預かるためには安全、安心な保育を心がけ、それにふさわしい保育サービスと保育環境の実現を園会議で強調しています。また、施設長は日中園内を回り、職員に気軽に声をかけ、子どもたちの様子を聞いたり、職員の相談に応じてアドバイスを与えるなど、リーダーシップを発揮して園内をまとめています。そのほか、施設長は外部機関との連絡、交渉などにあたっています。

重要な決定事項は、職員や保護者に十分伝えています

重要案件について、施設長は職員の意見や園会議での討議などを参考に原案を作成し、毎月の施設長会で検討され、本部の役員会で決定しています。決定事項は、園会議や昼礼ミーティングで職員に伝えています。日常の保育活動については、担当者が原案を作成し、各種会議で検討し、施設長に報告した後、園会議で決定します。保護者への周知は、園だよりに掲載したり、園内のお知らせボードに貼付したり、文書で配付したりしています。また、必要に応じて朝夕の送迎時や保護者懇談会などで説明しています。

2 経営における社会的責任		
サブカテゴリ1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

福祉に従事する者としての心構えは、さまざまな場面で伝えています

福祉サービスに従事する者として守るべき法や規範などは、就業規則のサービスの基本や保育品質マニュアルなどの中に明示されています。特に保育品質マニュアルの中には、サービスの心得、子どもへの対応、保育マナーや社会人としての基本事項などが網羅されています。年度初めの園会議では、職員として勤務するうえで必要なこれらの確認事項の遵守を徹底するように話し合い、日々の保育の実践に生かせるように努めています。また、毎月の園会議の冒頭には、職員がコンピテンシー表の中から日々の保育姿勢や内容について、自己採点の結果を発表しています。

地域の人々に保育の専門知識やスキルを提供しています

園は開園3年目を迎え、地域に開かれた保育園としての知名度が高まっています。地域の子育て支援事業としては、毎日園庭を開放したり、ちきんえっぐの活動を通して遊びの提供や子育て相談を行っています。毎月1回近くの公園で青空保育を実施し、地域子育て家庭の親子に紙芝居やシャボン玉遊びなどを行い、子どもたちとの交流を楽しんでいます。また市の協力を得て、当園を会場として「人形劇」「バルーンアート」「がっきいっぱいわくわくコンサート」を実施し、近隣の保育園や地域の方も参加し、園の子どもたちとともに楽しい時間が過ごせました。

地域のネットワーク会議などに参画しています

福祉に関心の高い高校生3名の職場体験を受け入れています。受け入れに際しては、受け入れマニュアルに沿って、子どもとのかかわりの留意事項やプライバシーの尊重などを説明しています。また、園では地域の関連機関との連携を図り、市の民間保育所園長会や地域保育園連絡会などに参画し、福祉サービスの幅広い情報を収集したり、意見交換をしています。そのほか、高齢者施設2施設との世代間交流もありますが、園が入居している1階の高齢者施設へは定期的に訪問し、特にハロウィンの際は高齢者から子どもたちがお菓子をもらい大喜びしました。

カテゴリ3		
3	利用者意向や地域・事業環境の把握と活用	
サブカテゴリ1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ3の講評		
苦情解決の仕組みを整え、速やかな対応に努めています 苦情解決の仕組みや方法については、入園のしおりなどに明示し、保護者にはそれを入園説明会や保護者懇談会で説明しています。玄関内には苦情解決の概要を掲示し、ご意見BOXを設置しています。苦情や意見があった場合は、速やかにクラス担当、施設長、法人本部へ連絡し、早急に対応するようにしています。園内ミーティングでは、それらの内容や経緯をフィードバックして情報の共有化を図っています。解決の結果については、口頭もしくは文書で苦情解決責任者から申し出人に対して報告しています。		
保護者の意向を十分に把握し、適切に対応しています 法人独自の利用者アンケートを年1回実施し、本部で集計し分析した結果を定例ミーティングなどで検討し、次年度の保育や行事計画に反映できるようにしています。また、保護者懇談会や保護者面談、親子行事の際のアンケートなどを通して、さまざまな意見や要望をくみ上げるようにしています。例えば、保護者の送迎時に使用する駐輪場を広げたりしています。そのほか、公園での園外活動中に発生した児童見失い事案については、ハザードマップの見直しや見守り専任の職員を配置するなどして、保護者の理解が得られました。		
地域の福祉ニーズや保育行政などの情報は、それぞれのルートから収集しています 施設長は市の民間保育所の園長会に出席して、市の保育行政の説明を受けたり、他園の園長との意見交換や勉強会を通じて、地域の福祉ニーズを収集しています。また、行政の子育て支援担当課が主催する公立園見学会からも他園の先進事例などが学べます。保幼小連絡会議に出席して、小学校との連携について幅広い情報が得られます。そのほか、施設長は園が所属している団体からの機関誌や新聞、雑誌の福祉関連記事にも目を通し、必要な情報は朝礼や園会議などの場で職員に周知しています。		

カテゴリ4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 11/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
評点(000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		
評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にすることの取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	○ 非該当

カテゴリ-4の講評

園としての中期計画を策定し実行しています

法人では、理念とビジョンの実現に向けた中長期計画を策定しています。地域のニーズに即した保育園の在り方を模索し、そのための事業成長戦略や組織強化、人材育成などが主なテーマになっています。園でも独自の3か年計画を策定しています。1年目の今年度は「チーム清瀬ルーム」の土台作りとして人的環境の構築を、2年目は新保育所保育指針に沿って子どもの主体性を重視した保育の展開を、3年目は全職員で全園児を見守る保育の実現を挙げ、今後も「選ばれる保育園」として、保育サービスの向上、人材の育成を重視した計画を主な柱としています。

事業計画は職員の意向を十分に反映して、作成されています

単年度の事業計画は、園会議などで検討した内容を基に、事業計画案が作成され、法人本部の承認を得て決定しています。内容を決めるにあたっては、毎年1月に全職員が「次年度年間計画エントリー」を提出して、それらを2月から3月の年間計画策定会議で検討して、翌年度の年間計画などが決められています。保育計画の推進にあたっては、係担当者が中心になって進めます。行事計画については、職員が多くの行事を担当しますが、前任者の残した行事記録ノートなどを参考に計画を策定しています。

子どもの安全確保を最優先に災害対策を立てています

子どもの安全の確保は最優先の課題です。消防計画に沿って各人の役割を明確にして、毎月の防災、避難訓練や引きとり訓練、不審者対応などを実施しています。安全対策や感染症に対しては、職員への周知徹底を図ったり、感染症の患者が出た場合は園内に掲示して保護者への注意を喚起しています。また、危機管理に関しては、事故記録簿や、事故につながりやすいヒヤリハット記録に記し、それらをミーティングで十分に話し合い、再発防止につなげています。そのほか職員は定期的に「事故防止チェック」や「設備点検」を実施して安全管理に努めています。

カテゴリ5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 職員のやる気向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○ 非該当
カテゴリ-5の講評		
<p>職員に求められる職員像を明らかにしています</p> <p>園が求める人材の要望は、園担当の運営部マネージャーを介して依頼し、法人本部で一括採用しています。施設長は園の求める人材として「型にはまったマニュアル通りの対応でなく、柔軟な考え方、ピュアな発見や驚きを感じ取り、子どもたちのすてきな発想に共感し、自然体で子どもたちに寄り添っていける職員」を挙げています。また、日常の中で子どもたちに接する際、「感じて、考えて、行動する」ことのできる職員を育成することを目指しています。人員配置については、ベテラン職員と経験の浅い職員を組み合わせ、職場内の若手育成に努めています。</p> <p>職員の能力向上を旨とした研修制度が充実しています</p> <p>職員は年度初めに研修受講アンケートを法人本部に提出し、外部研修に参加できるようにしています。法人主催のプログラムとして、施設長、中堅スタッフ、新人職員などの階層別研修や各職域別の保育関連研修など、幅広い研修プログラムが整備されています。年度初めには職員一人ひとりの意向や経験を考慮し、施設長が総合的に判断して個人別研修計画を作成しています。また、園内研修にも力を入れ、看護師による嘔吐処理研修をはじめ外部講師からは「発達にあった玩具選び」の講義や保育室内の環境設定の検証について、貴重なアドバイスを得ています。</p> <p>職員の資質や保育スキル向上に向けて、多くの取り組みがあります</p> <p>毎月の園会議の冒頭に、職員は保護者への望ましい接遇方法を示したコンピテンシー集の自己採点の結果を披露しています。また、スキルアップシートに自己評価と施設長の評価及びそれを踏まえて施設長と職員の目標設定やフィードバック面談を実施しています。そのほか「児童・保護者の人権に関するチェックリスト」を使用しての自己採点を年2回行っています。これらの振り返りや施設長との定期的面談の中から、次年度につながる適切なアドバイスが得られます。こうした多くの取り組みを通して、職員は資質や保育スキルを確実に向上させています。</p>		

7			カテゴリ7		
情報の保護・共有			サブカテゴリ1(7-1)		
情報の保護・共有に取り組んでいる			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況		7/7
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる			評点(〇〇〇)		
評価	標準項目				
● あり ○ なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している		○ 非該当		
● あり ○ なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している		○ 非該当		
● あり ○ なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している		○ 非該当		
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している			評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目				
● あり ○ なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している		○ 非該当		
● あり ○ なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している		○ 非該当		
● あり ○ なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している		○ 非該当		
● あり ○ なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている		○ 非該当		
カテゴリ7の講評					
<p>個人情報などの機密性の高い情報は、保管管理を徹底しています</p> <p>児童票や健康管理ファイルなど機密性の高い重要書類は、事務室の鍵のかかる書庫で保管管理しています。事務室では職員以外の立ち入りは禁止しています。書類は職員が外部に持ち出すことを禁じ、記憶媒体(USB)も園内だけの使用に限定しています。子どもに対する管理ファイルは、新しい情報があるごとに随時更新しています。パソコンにはパスワードを設定して、アクセスに制限を設けています。指導計画や各種マニュアル、報告書など各種書類は、ファイル別に活用しやすく整理しています。</p> <p>個人情報の取り扱いについては、保護者から承諾書もらっています</p> <p>個人情報の取り扱いは、個人情報保護方針に定められており、玄関には「個人情報公開要録」を掲示しています。保護者には入園説明会の際、個人情報の利用目的などを詳しく説明しています。園では外部に個人情報を漏らさないこと、園ではどのような場合に写真を撮ったり記録を残すかということの説明し、保護者全員から個人情報の保護、公開に関する承諾書もらっています。新任職員の入職時の研修では人権や個人情報の取り扱いについて説明し、誓約書の提出を求めています。職員は年2回「児童・保護者の人権チェックリスト」で自己点検しています。</p>					

カテゴリ8

8 カテゴリ1～7に関する活動成果

サブカテゴリ1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリ1:「リーダーシップと意思決定」
 ・カテゴリ2:「経営における社会的責任」
 ・カテゴリ4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

風通しの良い職場作りを目指しました

園では今年度の基本方針として「一人ひとりの子どもたちが、自分らしく心豊かに育ちあう」を目標に、子ども本位の保育を挙げています。また、園と保護者の信頼関係は大切であり、そのためには日々真摯に丁寧に向き合い、子どもの育ちを共有する関係作りを心がけています。職員は子どもの様子や保護者の状況を日ごろから活発に話し合い、情報を共有することにより、風通しの良い職場作りを目指しました。今回の職員の自己評価の中には「職員間の連絡、連携が密であり、風通しの良い職員間の関係ができています」などの声が聞かれました。

サブカテゴリ2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリ5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

職員研修が充実して、職員の保育の質が向上しています

法人主催の研修体系が整備されており、階層別研修や各職域別の保育関連研修など、幅広い研修プログラムが用意されています。年度初めには、施設長が職員一人ひとりの意向や経験を考慮して個人別研修計画を作成して、研修参加を積極的に勧めました。また、園内研修にも力を入れ、看護師による嘔吐処理実技研修や、外部講師を招いて「発達にあった玩具選び」を受講し、あわせて保育室の環境設定について見直す良い機会になりました。

サブカテゴリ3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリ6:「サービス提供のプロセス」
 ・カテゴリ7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

内部監査の実施により、業務の見直しが進行しています

平成28年度に、法人運営部でISO9001(保育における国際品質管理規格)の認定を取得しています。次いで業務の効率化、情報管理・共有、リスクマネジメント、職員の負担軽減により、一層のサービスの質の向上が期待されます。園でも監査担当者による内部監査が定期的実施され、帳票類の各種点検、会計管理、サービス提供や清掃状況について、具体的な指導を得ることができました。これらを通じて、園での保育内容や人間関係などの問題把握にもつながり、改善のスピードが促進されました。

サブカテゴリ4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

園の運営は順調に推移しています

地域に開かれた、0～2歳児対象の乳児専門の保育園としての存在感は高まっています。園児定員数39名に対して、ほぼ定員数を確保しています。また、月次損益に関しては経費の使途の適正化を日ごろから話し合い、職員の経費節減への意識は高まっています。業務の効率化を図り、超過勤務手当の削減や、廃材などを活用して職員の手作りによる教材やおもちゃなどを増やしています。

サブカテゴリ5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している
・カテゴリ3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者の園に対する高い満足度が示されました

保護者の意向は、毎年実施される法人の利用者アンケートや保護者懇談会、保護者との個人面談や日々の連絡帳、登降園時の会話などから貴重な意見や感想が得られます。それらの結果は、そのつど集計、分析して、園会議や定例ミーティングなどで振り返り、できるものから改善につなげるように努めました。今回の利用者調査は、園として初めての調査でしたが、回収率61.8%のうち、利用者の総合的な感想では、「大変満足」が61.9%、「満足」が33.3%、合計95.2%という高い評価が得られました。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリ1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	評点(0000)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当
	サブカテゴリ1の講評	
	<p>パンフレットやホームページで、施設の情報をわかりやすく伝えています</p> <p>パンフレットは、理念や目標、デイリープログラムなどの基本情報から、裸足保育、異年齢保育、青空保育などの特色ある内容について、理解を深めてもらえるようにしています。ホームページでは、法人の基本姿勢や思いについて、図や写真を多用することでわかりやすく伝えています。遠方の方や事前にパンフレットを希望する方には、郵送対応を取ったり、ホームページから園だよりや食育だより、保健だよりをダウンロードできるようにするなど、利用希望者のニーズにも対応できるようにしています。</p> <p>市にパンフレットやお便りを提出したり、空き情報を報告するなどの連携を図っています</p> <p>市には、パンフレット一式とお便りを提出したり、定員の空き情報を報告するなど必要な情報を提供して連携を図っています。市のホームページから園のホームページへリンクされており、興味を持った方が園の詳細を知ることができるようになっています。市内の民間保育園連絡会に施設長が出席して、市の方針や動向などについて情報を収集したり、他園の園長と情報交換を行ったりして、市内の他園とも連携して互いの保育環境を高めていけるようなかわりを大切にしています。</p> <p>利用希望者には園見学をお勧めして、実際の保育環境を見てもらえるようにしています</p> <p>多くの方に見学に来てもらえるように、急な問い合わせであっても可能な限り対応するようにしています。なるべく個別での案内を基本としますが、希望者が重なった場合には2組くらいを上限とすることで、ゆっくりと見学できるように配慮しています。見学の際には、異年齢保育を導入しているので、壁のないオープンな環境の保育室や、クラスの垣根を超えて全職員でかかわること、朝夕の受け入れは玄関先で行うことなど、他園とは違う点について、ていねいに説明することで、納得して入園を希望してもらえるようにしています。</p>	
	サブカテゴリ2	
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
	評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	評点(000)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○ 非該当
● あり ○ なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている		○ 非該当
● あり ○ なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○ 非該当
サブカテゴリー2の講評			
<p>入園説明会と面談を実施して、子ども一人ひとりの情報の把握に努めています</p> <p>入園決定後には、説明会と面談を実施して子ども一人ひとりの情報を把握して、個別支援計画書に反映できるようにしています。成長過程や家庭環境などは書類での提出も可能ですが、今年度よりホームページから入力してもらうようにしました。説明会では、重要事項説明書と園のしおりを使用して、園の理念、目標、約束事についていっしょに読み合わせて、同意の署名をもらっています。面談にて聞き取った詳細については、「入園前児童面談票」に記載するとともに、特に重要な内容については「職員連絡ノート」に特記して、共有できるようにしています。</p> <p>保護者の就労状況を考慮しながら、徐々に保育環境に慣れてもらえるようにしています</p> <p>利用開始直後は、子どもが環境になじんで安心できる場所だと理解してもらえよう、慣れ保育を推奨しています。慣れ保育は必須ではありませんが、園は2歳児クラスまでの受け入れでもあり、子どものストレスや体調の変化などを考慮して、慣れ保育の必要性について説明して、保護者と協力して取り組むようにしています。可能であれば1週間程度の期間を設けて、昼食、午睡、おやつと徐々に段階を踏みながら、子どもの様子を見ながら滞在時間を長短できるようにしています。</p> <p>退園や卒園した子どもには、継続してかわりが持てるような取り組みを模索しています</p> <p>子どもが年度途中で退園する場合には、子どもが好きな遊びをしたり、子どもを囲んで昼食を食べたりと、子どもたちがお別れを言える機会を持てるようにしています。職員からは、活動の写真や全職員からの寄せ書きを渡すなど、思い出を形に残せるようにしています。昨年度初めて卒園児を送り出しましたが、夏祭りに声かけして集まってもらうなど、園を再訪してもらう機会を設けました。今後も、園へ足を運んでもらう機会を設けて、子どものみではなく保護者同士の連携も継続できるように、場所や機会を提供していくよう模索しています。</p>			
サブカテゴリー3			
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		○ 非該当
● あり ○ なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		○ 非該当

評価項目2
 保育課程や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3
 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4
 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ3の講評

保育課程は、年間保育計画、月案、週案、日案へと関連性を持って展開しています
 保育課程から、年間保育計画や月案など各計画へ関連性を持って展開させるよう、職員間で話し合いの場を設けています。今年度は年間保育計画を全職員で立案して、子どもたちに必要な環境や保育内容について意見を出し合うことができました。次年度は、保育課程も自園で作成して、各計画と連続した保育の提供を目指しています。保育課程には園目標を設定していますが、今年度は「一人ひとりの子どもたちが、自分らしく心豊かに育ちあう」として、子ども一人ひとりの個を大切に、保育士や保護者、地域が連携して見守る環境設定を目標としています。

子どもの日々の様子は、申し送りや記録に残して職員間で共有できるようにしています
 入園前の子どもの様子や家庭環境は、法人のホームページから指定の項目を入力してもらい、職員間で情報を共有しています。入園後の様子については法人指定の様式「子どもの様子」に記録して成長の過程を残しています。子どもの成長については、毎日の送迎時や保護者懇談会などでそのつど保護者に伝えて、成長過程について理解を得られるようにしています。子どもたちの日々の様子については、毎日の朝礼や昼礼で適時速やかに情報を共有することで、適切な支援方法や保育環境について常に検討できるようにしています。

毎月末には保育の振り返りを実施して、翌月の計画に生かしています
 日々の保育の様子については日誌に活動内容を記録して、保育者の援助や配慮、保育環境が適切であったかどうか、毎日振り返るようにしています。毎週金曜日の昼礼は、次週の週案について検討する場となっており、全職員で確認を行ってから保育を実施するようにしています。月末には子ども一人ひとりの保育内容や発達の様子について振り返りを実施して、個別指導計画書に落とし込めるようにしています。反省点や、次月にも継続した方がよい内容について検討して、連続した保育の提供を行うようにしています。

サブカテゴリー5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○ 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点(〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	○ 非該当
サブカテゴリー5の講評		
子どもの羞恥心に配慮できるよう、保育環境を常に見直せるようにしています 夏場のプールは2階のバルコニーで実施しますが、周囲からの視線を遮断できるように囲いをしたり、ブドウの木を植えて目隠し効果を得られるようにするなどの工夫をしています。着替えの際には、パンツ一枚にさせないように、職員間で注意するようにしています。2歳児クラスが主に使うトイレには、個室タイプも設置して、周囲からの目を気にすることなく用を足せるようにしています。おねしょなどで更衣が必要な際には、周りの子どもたちに気づかれないように配慮して、子どもの自尊心を尊重するようにしています。		
施設長が主となり、子ども一人ひとりの個性を大切にしかかわりを進めています 園は2歳児クラスまでを対象としていることもあり、子どもの成長や興味には非常に幅があります。職員は、子どもを枠に入れようとするのではなく、一人ひとりの個性や興味、得意なことを引き出して伸ばしていくことで、子どもが自己肯定感を持てるようにしています。毎日の保育の中で、子どもに気になる様子があれば、昼礼などで施設長も含めて職員間で話し合っています。複数の意見を重ね合わせることで、多様な視点からの気づきを促しています。クラス担当だけでなく全職員がかかわることで、より良い保育を提供できるようにしています。		
虐待防止マニュアルに基づき、小さな気づきも見逃さないようにしています 虐待が疑われる事象があった際には、虐待防止マニュアルに沿って対応するようにしています。マニュアルには、虐待の定義、家庭内での虐待と保育士による虐待、早期発見、対応などについて明記して、職員が意識してかかわれるようにしています。虐待の疑いがある子どもの様子は、毎日法人本部に報告して、本部が窓口になり対応する体制を整えています。必要に応じて、子ども家庭支援センターなどと連携して、情報交換を行えるようにしています。職員は園会議や研修を通して、虐待についての理解を深めるようにしています。		

サブカテゴリー6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

11/11

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した保育ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ6の講評

「保育品質マニュアル」に基づき、保育品質のレベルを保てるように取り組んでいます

全職員が入職時に「保育品質マニュアル」の貸与を受け、常に携帯して見返すことでサービス内容について共通理解を得られるようにしています。保育品質マニュアルに記載されている、けが、病気、衛生管理などのフローチャートは保育室内に掲示して、常時確認できるようにしています。入職時にはマニュアルについての研修を実施し、その後は実際の保育の中で到達度を確認できるようにしています。嘔吐処理やアナフィラキシーに対する補助治療剤の研修は、毎年実施することで、職員が一定のレベルを保てるように取り組んでいます。

「危機管理マニュアル」を活用して、安全な保育環境を提供できるようにしています

危機管理マニュアルには、事故、見失い、置き去り、与薬、災害、不審者侵入などの項目を設けて、日々安全を守るように努めています。昨年度見失い事故が発生した際には、引率職員の責任の所在を明確にして、各担当が責任を持ってかかわるように体制を変更しました。保育環境の見直しとしては、定期的に全クラスで「事故防止チェックリスト」や「設備点検チェックリスト」を使用して安全点検をしています。散歩の際には、職員が公園に先に行きごみなどの危険物を回収してから出かける対応を取るなど、子どもたちの安全を第一に考えています。

「コンピテンシー集」を活用して、職員の資質を一定に保てるようにしています

コンピテンシー集を作成して、職員は行動指針、マニュアル指針として携帯しています。園会議では、毎回コンピテンシー集の中から、冷静さ、解決策の立案、有言実行、礼節を守るといった項目から抜粋した項目について、日々の保育姿勢や、内容についてどう感じたかを発表する場としています。今年度は、非常勤職員も参加できる法人研修を初めて実施して、他園での取り組みや情報交換を行いました。法人の思いや姿勢について、幹部職員と話す機会を設けたことで、モチベーションアップにつながっています。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	34/34
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇)・非該当1	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつキ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		<input checked="" type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもたちがやりたいことに取り組める、保育環境やかかわりを大切にしています</p> <p>子どもたちが、やりたいことを選んで取り組めるように、おもちゃや絵本は手の届く所に配置しています。保育室は、6月ごろからは異年齢保育を始めるため、壁などなく自由に行き来できる環境となっており、広々とした空間を遊び、食事、午睡など目的に応じて使い分けています。遊びの空間も、マットや仕切りを使用して同時に多種展開できるようにして、興味を持った遊びに参加できるようにしています。静と動両方の活動を保育室の中でどのようにすみ分けていくかなど、職員間で常に環境について話し合っていて決めるようにしています。</p> <p>異年齢保育を取り入れて、子どもたちが互いに認め合えるように促しています</p> <p>6月ごろからは異年齢保育を導入して、0歳児から2歳児が交流できる機会を設けています。0歳児は月齢によって、参加できることから徐々に異年齢保育に合流して、無理なく安全に過ごせるように配慮しています。散歩も異年齢で行くことで、体力の違いなどを理解して互いに思いやりながら、楽しめるように支援しています。異年齢保育を実施することで、大きい子どもは小さい子どもを思いやり、手本となるように、互いが良い刺激を与え合うような関係性を構築できるようにしています。</p> <p>子ども同士のトラブルは、原因について職員間で考察しています</p> <p>引っ掻きやかみつキなど言葉より先に手が出てしまうことがありますが、保育士配置や、日ごろの様子観察から危険につながりやすい行動を察知したり、子ども同士が密になりすぎないようにするなどの配慮をして未然に防ぐように努めています。なぜ子どもがそのような行動を取ってしまうのか、家庭での様子も含めて考察して対応策を立てるようにしています。基本的に園内でのトラブルについては、手を出した側には伝えませんが、頻度や程度などによって保護者に伝えて、子どもへのかかわりをともに考えていくようにしています。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		<input type="radio"/> 非該当

評価項目2の講評

登園時には子どもの様子を注意深く観察して、体調に合わせた活動を提供しています

登園時には、子どもの顔色や声の調子などいつもと違う様子がないかどうか、注意深く観察しています。朝は「お変わりないですか」と保護者に声をかけることで、家庭での様子や気になることなどを話してもらいやすい雰囲気になっています。子どもに疲れた様子があった際には、保護者からの申し送りや連絡帳などから前日の様子を確認して、必要に応じて午前中に30分程度の睡眠を取るようするなど、臨機応変に対応しています。体調不良時には、まずは一報を入れて、悪化した際の対応について保護者の協力を得られるようにしています。

一人ひとりの発達度を考慮して、楽しみながら生活習慣の習得ができるようにしています

離乳食やトイレトレーニングは、子どもの様子を見ながら家庭と協力して進めるようにして、随時様子を伝えて保護者の同意を得てから次の段階に進めるようにしています。食材は、必ず一度は家庭で試してもらってから、園で提供することとしており、献立に食べたことがない物があれば、声かけして家庭で試してもらっています。生活習慣の習得では、楽しんで取り組めるように声かけや励ましを多くすることで、できることの喜びを子どもが感じながら進めるようにしています。栄養士など専門職が相談に乗りながら、進めていくようにしています。

「3分間対応」を実施して、子どもの様子を詳細に伝えるように努めています

お迎え時には「3分間対応」を実施して、子どもたちの日中の生き生きとした様子を伝えて、保護者の安心につなげるようにしています。玄関にはホワイトボードを設置して、各クラスその日の保育内容について記載しています。さらに口頭で、子ども一人ひとりの詳細な様子を伝えて、興味のあるものや発達の段階について共通理解を得られるようにしています。連絡帳機能を備えたアプリでは、保育の様子を写真で見ることができるようになっており、「仕事帰りの電車の中で確認するのが楽しみです」など、保護者から高い評価を得ています。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○ 非該当
● あり ○ なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○ 非該当

評価項目3の講評

裸足保育を導入して、足裏からの刺激を大切にしています

裸足保育は足指で地面を捉える力を育て、「歩く・走る・飛び降りる・よじ登る・横や後ろに動く」動作を習得して、運動感覚を育てることを目的としています。保育室内、バルコニー、園庭などでは裸足で過ごすことで、足裏の刺激を感じて足底筋の発達を促すようにしています。職員も裸足になり子どもとともに外遊びを楽しむ「背中を見せる保育」を実践しています。裸足になることは強制ではなく、子ども自身が、やりたい、楽しそうだと思うように働きかけ、自主的に裸足になるようにかかわっています。

集団活動やさまざまな遊びを通して、言葉の使用や表現活動を楽しめるようにしています

集団活動としては、毎日の散歩や、音楽を聴き分けて音に合わせた動きを取り入れたリズム体操があります。集団での活動を通して、互いの動きをまねしたり、確認し合うなど集団ならではのかわりを持てるようにしています。発語を多く促せるよう、例え理解が難しい事でも言葉での説明を大切に、初めから保育士が主導することのないようにしています。絵本の読み聞かせなどでは、文字を追えるようにして興味を引き出したり、2歳児の部屋には歌の歌詞を貼りだすなど、文字の認識を高められるように配慮しています。

戸外活動を多く取り入れ、子どもたちが十分に体を使って遊べるようにしています

天候不良でない限りは午前、午後とも散歩や園庭遊びを楽しめるようにしています。毎月1回、テーマを決めて近隣の公園に遠足に出かけて、子どもたちの好奇心を刺激するようにしています。散歩では、季節の植物や虫などに触れる機会を意図的に設けて、興味を引き出しています。子どもが自らやってみて体験する中で、手順や決まりなどを守った方が楽しいと感じるようなかわりを大切にしています。園庭には固定遊具はあえて配置せず、タイヤや手作りの可動式遊具を取り入れることで、遊びの展開が無限に広がるような作りとなっています。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○ 非該当
評価項目4の講評		
<p>行事には子どもの成長の過程を理解してもらえよう内容を盛り込むようにしています</p> <p>運動会や生活発表会といった大きな行事では、保護者に子どもたちの成長の過程を見てもらえるようにしています。10月の運動会は、入園からの発達の様子を理解してもらえよう、リズム体操や雑巾がけなど日ごろの取り組みや、跳ぶ、跳ねる、くぐるなどの動作をプログラムの中に盛り込んでいます。発表会は運動会後から2月までの成長を見てもらえるよう、発表だけではなく朝の会の様子なども含めて参観できるようにしています。製作活動の取り組みなど日ごろの様子を保育室内に掲示して、大きくなった姿を実感してもらえるようにしています。</p> <p>行事や外出など年間体験活動は、「プロポーザル制度」を参考にして考察しています</p> <p>行事など年間体験活動は、「プロポーザル制度」を活用して職員が自案を複数提案します。毎年決まった事をするのではなく、子どもたちの様子に合わせた行事を職員全員で考えることで、主体性が生まれ、職員の気づきや新しい発見が生まれるなど、スキルアップにもつながっています。法人他園の提案も共有されているので、良い事例は自園の環境に合わせて変更を加えて、より良い行事を提供するように努めています。今年度は、他園で実施した2歳児でも取り組めるクッキングの内容を参考にして、より複雑な工程に挑戦しています。</p> <p>行事の際にはアンケートを実施して、保護者の意見を反映できるようにしています</p> <p>行事を決定する際には、保護者の意向も反映できるように前年度の反省を踏まえて、より満足してもらえる行事を実施するように取り組んでいます。どろんこ祭りは、保護者と共同で行う行事となっていることから、事前に行事内容について話し合いの場を設けて、保護者と協力しながら進めていくようにしています。運動会や生活発表会の後には、アンケートを実施して保護者の意見を伝えてもらっています。保護者からは好意的な意見が多く、大きな改善を必要とすることはありませんが、意見を参考にしてより良い行事を実施するようにしています。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○ 非該当
評価項目5の講評		
<p>静と動の活動を取り入れて、子どもたちがくつろげる時間を設定するようにしています</p> <p>雨天でない限り、日没まで散歩に行ったり園庭で遊んだり、午後也十分に体を動かす活動を提供しています。保育室内に戻った後は、日中は使用しない細かいパーツなどがあるおもちゃを用意して、夕方以降の時間帯の特別感を演出するようにしています。動から静への活動の前には、わらべ歌や読み聞かせなどを行って、一呼吸してから静かな遊びに取り組むようにしています。夕方以降の保育室内では、自由遊びが主となっており、自分のやりたい遊びに取り組めるように配慮して、ゆっくりと過ごせるようにしています。</p> <p>時間によって保育室の環境を変えて、0歳児もゆったりと過ごせるようにしています</p> <p>延長保育は、異年齢で過ごす合同保育を採用していますが、0歳児に関しては夏ぐらまでは他年齢とのかかわりを少なくして、安全に過ごせるようにしています。1、2歳児も、6月くらいまではそれぞれのクラスごとに過ごせるように環境設定をしたり、クラス担当がかかわるようにして、安心して過ごせるようにしています。夕方の時間は、スキップの時間を多めにとるなど配慮しています。20時まで預かりの子どもには、19時半に夕食の提供を行って、保護者の到着を無理なく待てるようにしています。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○ 非該当

評価項目6の講評

毎月給食会議を開催して、日々の食環境を多職種で話し合う場を設けています

毎月1回給食会議を実施して、毎日の給食に関する意見や改善点などについて話し合っています。離乳食については、子どもたちのそれぞれの成長の段階に合っているかどうか、多職種の職員で話し合い適切な形態で提供できるようにしています。会議では、アレルギーや口腔機能、食器や食具についての研修を設けて、発達に合わせた食事支援について職員の意識を高められるようにしています。職員より、子どもと同じものを食べるのも食育の一環であるという意見が挙がったことから、次年度より、職員もいっしょに食事をするように変更する予定です。

アレルギー対応の献立を用意して、安心して食事を楽しめるよう体制を整えています

食物アレルギーのある子どもは、除去食申請書を提出してもらい、別献立で対応しています。アレルギーのある子どもは個別テーブルとし、テーブルとトレーには顔写真と除去食の内容を貼って対応しています。栄養士からクラスの担任に配膳される際と、クラス内で担任間での確認と、ダブルチェックを2回実施して、慎重に対応しています。今年度より、除去対応食材について、クラス担当者から「〇〇除去で間違いはないですか」と確認する体制に変えたことで、どの献立に対応食材が入っているのかを理解してかわるようになっていきます。

食育計画を作成して、子どもたちのさまざまな興味を引き出すようにしています

今年度の食育目標は、「0から2歳児全員で行えるよう、年齢に見合った食育を行い、成長に伴ってできるが増える喜びを知り、また食べることに興味・関心・意欲を養い食事を楽しむ」としています。一年を4期に分けて、健康、楽しく食べる、文化を知る、命を大切にする、料理の5分野について、期を追うごとに段階を踏んでいけるようにしています。できることをやろう、という考えのもと、クッキングの梅ジュース作りでは梅の実を瓶に入れる、栽培した野菜に触るなどの工程を盛り込むことで、興味を引き出せるようにしています。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(000)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○ 非該当

評価項目7の講評

手洗いやうがいなどの生活習慣は、職員が手本となって取り組むようにしています

日ごろから、手洗いやうがいなどの生活習慣を身に付けられるよう、職員が手本となり見せることで、子どもたちも自然と身に付けられるようにかかわっています。手洗いの方法も、指の間、手の甲、爪なども、どのようにしたらきれいになるのか、いっしょにやってみせています。咳エチケットも、そのつど手を口にあてることを、口頭や仕草で見せることで、子どもが意識できるようにしています。絵本などを使って、目に見える形で健康への取り組みを伝えるなど、低年齢の子どもにもわかりやすく伝える工夫をしています。

健康診断や歯科健診、毎日の健康チェックを通して、子どもたちの健康を支えています

園医による全園児対象の健康診断は年2回、身体測定は毎月実施して、保育記録に残しています。毎日の健康管理は看護師が主となってかわり、子どもたちの日々の変化に対応するようにしています。継続的に与薬が必要な子どもには、主治医の判断を得て「与薬依頼票」を提出してもらっています。入園のしおりやホームページでも、投薬の流れについて説明するとともに、与薬依頼票もホームページからダウンロードできるようにしています。体調不良時などは、別室の静養室で様子を観察するようにして、感染などを拡大させないようにしています。

園だよりや掲示、保護者懇談会などで園の健康管理の取り組みを保護者に伝えています

毎月保健だよりを発行して、プール熱やインフルエンザなど季節に応じて現れやすい疾病について、予防法や注意点などを伝えています。どろんこ保育園の特徴である、薄着の習慣についても保健だよりに掲載して、家庭と協力して進められるようにしています。乳幼児突然死症候群(SIDS)については、0、1歳児の呼気、体位確認を5分間隔で実施していることなどの取り組みについて、入園説明会の際に伝えています。インフルエンザやノロウイルスなどの感染症が流行した際には、玄関に掲示し、予防法も伝えて注意喚起を促しています。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○ 非該当

評価項目8の講評

保護者の就労状況に合わせて、臨機応変に対応できる体制を整えています

休日でもリフレッシュ目的に預けることを可能としたり、急な残業時には当日でも延長保育を受け入れています。急な延長であっても夕食を準備するなど柔軟に対応できるようにして、保護者の就労を支えています。面談は希望があった際には随時実施できる体制を整えており、相談事や心配なことがある際には、気軽に話してもらえ関係性を大切にしています。園は、玄関での受け入れと引き渡しとしており、面談室の利用が心理的負担となる懸念もあることから、大切な要件はひとけのない時に声をかける配慮をしています。

行事や保護者懇談会では、保護者同士の関係性が深まるように支援しています

保護者同士が交流する機会としては、保護者懇談会や運動会、生活発表会などがあります。保護者と園とで協力する行事に「どろんこ祭り」があります。今年度はテーマを「南国」として、かき氷、さかな釣り、ヨーヨーすくいといった屋台や、宝探し、ポーリング、親子製作といったレクリエーションを実施しました。保護者懇談会では、あらかじめほかの保護者に聞きたいことを書いてもらい、当日は互いの思いを共有できるようにして、保護者同士のかわりが深まるように支援しています。

送迎時の対応などで、子どもの日々の様子を理解してもらえるように努めています

毎日の送迎では保護者と積極的にコミュニケーションを取り、日ごろから相談してもらえ関係性を目指しています。3分間対応では、子ども一人ひとりの園での様子について詳細を伝えることで、成長の過程を理解してもらおうようにしています。また、連絡機能を備えたアプリを活用し、写真とエピソードを掲載して子どもの生き生きとした様子を伝えるようにしています。保育参加は通年実施しており、希望の日に参加してもらおう体制を整えています。残念なことに今年度は参加者がいない状況のため、次年度の参加率を上げるよう工夫されることを期待します。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもが地域の資源を利用し、多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○ 非該当
評価項目9の講評		
<p>子どもたちが地域に出る機会を多く設けて、たくさんの人と交流できるようにしています</p> <p>法人の保育目標である「人対人コミュニケーション」では、園外ですれ違った全ての人に、あいさつを交わすことを基本姿勢としています。毎日の散歩や商店街ツアーでは、子どもたちがさまざまな人たちとかわる機会を設けています。園が入っている建物の1階には高齢者施設があり、ハロウィンなどの行事での交流や、散歩の際のあいさつで触れ合っています。商店街の高齢者施設とも交流があり、歌や手遊びの交流を行っています。園周辺の方とも、毎日の掃除の際などで触れ合う機会が増えており、園は地域に溶け込む努力を日々重ねています。</p> <p>園の行事や地域交流事業に、地域の方々に足を運んでもらえるように努めています</p> <p>どろんこ祭りには、地域の方々や卒園した子どもたちを招待して交流を持つようにしています。地域の子育て世代に向けては、青空保育や園庭開放などの自主事業を実施して、園の資源を地域に還元して地域とともに成長していくことを目標としています。保育所体験も今年度より開始しており、来年度に向けて行事の内容などに厚みを持たせるように計画しています。園の近隣には、園庭のない2つの保育園があることから、園庭に招待して交流を持つようにするなどの計画を進めています。</p>		

[ver.2]

調査対象

保育園を利用している34世帯を対象に調査を実施しました。在園児は38名で、兄弟姉妹が同園に通う世帯は年齢の一番低い子どもについて回答してもらいました。

調査方法

アンケート調査は無記名方式で、配付は施設を通じて利用者へ手渡し、回収は保護者から直接評価機関へ郵送する方法によりました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、保育園に報告しました。

利用者総数

38

利用者家族総数(世帯)

34

共通評価項目による調査対象者数

34

共通評価項目による調査の有効回答者数

21

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

61.8

利用者調査全体のコメント

保育園に対する総合的な感想は、「大変満足」が13人(61.9%)、「満足」が7人(33.3%)で「満足」以上の回答は合計20人(95.2%)でした。

自由意見には、「たくさん歩ける体力も、自然との触れ合いも家庭だけでは身につけさせることができないことです。歌もたくさん覚えてきて、心豊かに育てていただいているなど思っています」「先生方がいつも笑顔で温かく、子どもの成長をともに願い喜んでくださっていて、感謝しかありません」「保育の予約や園とのやりとり、活動の記録のインターネットサービスがとても便利です」など園への感謝の声が多くありました。

項目別に見ますと、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」「保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか」で100.0%、「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっていくか」「子どもの気持ちを尊重した対応がされているか」など5つの質問で95.2%の保護者が「はい」と回答し、とても高い満足度がうかがえます。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	21	0	0	0
「はい」が100.0%でした。 自由意見には、「日々子どもの成長を感じる中で園での影響もかなり大きいと思っています」「運動会などで子どもの成長や新たな一面を見ることができています」などの声がありました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっていくか	20	1	0	0
「はい」が95.2%、「どちらともいえない」が4.8%でした。 自由意見には、「リズム体操など親も知らなかった子どもの好きな遊びをたくさん行ってくれていると思います」「子どもが覚えてきた歌や遊びを家庭でもいっしょに楽しんでいます」「季節や行事を取り入れたイベントや、子どもが楽しめる製作作業を、頻繁に行ってくれていると思います」などの声がありました。 また、「英語や礼儀を教えてほしい」という意見もありました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	20	1	0	0
「はい」が95.2%、「どちらともいえない」が4.8%でした。 自由意見には、「成長に合わせて食材など、かなり工夫されていると思いました」「ご飯がおいしく、家よりよく食べます」「食育でいろいろな経験をさせていただいています」などの声がありました。 また、おやつに対する意見もありました。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	21	0	0	0
<p>「はい」が100.0%でした。 自由意見には、「自然の多い場所への散歩、高齢者の方との触れ合いなど、いろいろ体験させてもらっていると思います」「自然に触れたり、外で遊ぶ機会や、商店街や年配の方と触れ合う機会があります」などの声がありました。</p>				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	19	2	0	0
<p>「はい」が90.5%、「どちらともいえない」が9.5%でした。 自由意見には、「電話で伝えると『気をつけて～』とってくれるので、安心して預けられます」「前日に急きよ次の日の保育をお願いできるのは非常に助かると思います」「延長も快く対応していただけます」などの声がありました。</p>				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	16	5	0	0
<p>「はい」が76.2%、「どちらともいえない」が23.8%でした。 自由意見には、「不審者も入りにくいと思います」「十分気を付けていただいていると感じています」などの声がありました。 また、「事故の後の対策もとられている」という意見もありました。</p>				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	19	2	0	0
<p>「はい」が90.5%、「どちらともいえない」が9.5%でした。 自由意見には、「ほど良いタイミングで保護者会が行われ、意見交換などができ、ありがたいです」「調整が難しい時期の行事日程もありますが、一般的には問題ないと思います」などの声がありました。</p>				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	17	4	0	0
<p>「はい」が81.0%、「どちらともいえない」が19.0%でした。 自由意見には、「担任の先生はもちろん、経営層の先生も子どもの成長に気付けて下さり、相談にも乗ってくれます」「何かあった時は相談できる環境だと思います」などの声がありました。 その一方で、「信頼関係はあるが、相談するまでには至っていない」という意見もありました。</p>				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	19	2	0	0
<p>「はい」が90.5%、「どちらともいえない」が9.5%でした。 自由意見には、「新しい建物ということもあり、とても清潔感があります」「園自体も新しく、とてもきれいだと思います」などの声がありました。 その一方で、「子どものロッカーの中が、整頓されていない時がある」という意見もありました。</p>				
10. 職員の接遇・態度は適切か	20	1	0	0
<p>「はい」が95.2%、「どちらともいえない」が4.8%でした。 自由意見には、「言葉づかいもていねいなばかりです」「皆さん明るく優しいので、いつも安心してます」などの声がありました。</p>				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	19	1	1	0
<p>「はい」が90.5%、「どちらともいえない」が4.8%、「いいえ」が4.8%でした。 自由意見には、「発熱などはすぐに気付き、連絡をくれます。細かな傷もていねいに説明があります」「きちんと連絡を入れてくれますし、様子見もしてくれ、働いている身としてとても助かっています」などの声がありました。</p>				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	17	3	1	0
<p>「はい」が81.0%、「どちらともいえない」が14.3%、「いいえ」が4.8%でした。 自由意見には、「そこまでのトラブルはないですが、公平に見てくれていると思います」などの声がありました。 その一方で、「傷つけられた際にはもちろん教えてくれますが、子どもが友だちを傷つけていないかというところまでは教えてくれないので少し心配です」という意見もありました。</p>				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	20	1	0	0
<p>「はい」が95.2%、「どちらともいえない」が4.8%でした。 自由意見には、「やりたいことをやらせてくれるなど、子どもの意志も尊重してくれていると思います」「気持ちをくみ取りながらも、うまくいなくて泣いたことなども伝えてくれます」などの声がありました。</p>				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	19	2	0	0
<p>「はい」が90.5%、「どちらともいえない」が9.5%でした。 自由意見には、「ちょうどよい距離感で接してくれていると思います」「該当するようなことはありませんが、守られていると思います」などの声がありました。</p>				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	20	1	0	0
<p>「はい」が95.2%、「どちらともいえない」が4.8%でした。 自由意見には、「『いつごろこんなことをします』など保護者会で教えてくれるので、それまでに家でも挑戦してみようと目標ができます」「特に疑問に思うところはありません」などの声がありました。 その一方で、「断片的な場合があり、不十分に感じることもある」という意見もありました。</p>				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	14	6	1	0
<p>「はい」が66.7%、「どちらともいえない」が28.6%、「いいえ」が4.8%でした。 自由意見には、「今のところ大きな不満、要望はありませんが、きちんと対応してくれると思います」「不満に感じるものがまだありません」などの声がありました。</p>				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	8	9	3	1
<p>「はい」が38.1%、「どちらともいえない」が42.9%、「いいえ」が14.3%、「無回答・非該当」が4.8%でした。 自由意見には、「あまり利用する機会が今のところなさそうなので、細かくはわかりません」などの声がありました。</p>				

株式会社 学研データサービス
(福祉サービス第三者評価機関)

〒141-0031 東京都品川区西五反田8-1-13
TEL03-5436-8191 FAX03-5487-8810

●評価機関認証

東京都	認証 機構05-149
神奈川県	認証 第9号
横浜市	指定 第9号
横浜市	指定管理者第三者評価機関認定18-09
川崎市	評価手法使用承諾
埼玉県	認証 埼玉2004003
千葉県	千葉県健指指令第2995号-10
群馬県	認証 評推進ぐ機関19-02